

# 平成30年度 入学者選抜要項

この要項は、平成30年度宮城教育大学入学者選抜に関する基本的な事項を掲載したものです。

出願手続、実施日程等の具体的な事項については、次のとおり発表しますので必ずご覧ください。

- 推薦入試（大学入試センター試験を課さない）は9月下旬に「平成30年度推薦入試学生募集要項」により発表
- 一般入試は10月下旬に「平成30年度一般入試学生募集要項」により発表
- 私費外国人留学生入試は10月下旬に「平成30年度私費外国人留学生入試学生募集要項」により発表

平成29年7月

国立大学法人  
宮城教育大学

# 目 次

宮城教育大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
1. 募集人員	2
2. 出願資格	3
3. 出願上の留意事項	3
4. 入試方法等	3
(1) 入試の種類と実施方法	3
(2) 一般入試の教科・科目及び配点	3
(3) 一般入試における面接及び実技検査の概要	3
(4) 推薦入試（大学入試センター試験を課さない）	3
[附表1～5]	
入学者選抜方法等	
(一般入試)	4
(推薦入試)	6
推薦入試①（大学入試センター試験を課さない）	7
推薦入試②（大学入試センター試験を課さない）	8
入学者選抜の実施教科・科目等について	9
[別表1～3] 実技検査の概要	13
5. 私費外国人留学生入試	16
6. 入学者選抜試験の情報開示	17
7. 学生募集要項の配付時期	17
8. その他	17
○学生募集要項等の請求方法	18
○宮城教育大学オープンキャンパス	19
○照 会 先	19
○入学試験に関するインターネットによる情報提供	19
○宮城教育大学までのアクセス	20

# 宮城教育大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

宮城教育大学は教員養成大学です。将来、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校等において優れた資質・能力をもった教員として活躍できるよう、教育に強い関心を持ち、確かな基礎学力とたゆまぬ学習意欲、そして自ら教員として、人間としての成長を目指す使命感・向上心を有する学生を受け入れます。

## 1. 初等教育教員養成課程

- 1-1 初等教育教員には、全教科に対応しうる学力とともに、幅広い年齢層にわたる、子どもたちの多様な発達段階に応じた適切な指導力が必要です。
- 1-2 入学する学生には、高等学校において、全般的な教科・科目の基礎学力を十分に習得することが望まれます。
- 1-3 また、子どもたちを取り巻く環境も変化し、学校現場ではさまざまな問題が生じています。初等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持つ学生を求めています。

## 2. 中等教育教員養成課程

- 2-1 中等教育教員には、特定の教科に関する専門的な学力とともに、子どもから大人へと変容し始める生徒に、適切に対応する指導力が必要です。
- 2-2 入学する学生には、高等学校において、志望する専攻に対応する教科・科目の十分な学力に加え、関連する幅広い分野の基礎学力を習得することが望まれます。
- 2-3 また、生徒を取り巻く環境も変化し、学校現場ではさまざまな問題が生じています。中等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持つ学生を求めています。

## 3. 特別支援教育教員養成課程

- 3-1 特別支援教育教員には、担当する校種・教科に対応しうる十分な学力とともに、障害のある児童・生徒と向き合っ、その可能性を引きだし、一人一人の異なるニーズに的確に応えることのできる指導力が必要です。
- 3-2 入学する学生には、特別支援教育教員免許状の基礎免許として初等教育教員免許状を取得する場合には、全般的な教科・科目の十分な学力を、中等教育教員免許状を取得する場合には、志望する教科・科目の十分な学力を、高等学校において習得することが望まれます。
- 3-3 また、インクルージョン（困難を抱える人々の存在を当然のこととした社会の構成）をめぐる世界的な流れの中で、学校現場でも対応すべきさまざまな課題が見出されています。特別支援教育に強い関心と意欲があり、その教育に対する使命感を持ち続けることのできる学生を求めています。

# 1. 募集人員

学部	課程	系・専攻・コース	選考区分	入学定員	募集人員							
					一般入試				推薦入試①	推薦入試②		
					前期日程		後期日程					
教 育 部	初等教育教員養成課程	発達・教育系	幼児教育コース	-	188	28	(5)	10	(2)	12	(2)	-
			子ども文化コース				(5)		(2)		(2)	
			教育学コース				(9)		(3)		(4)	
			教育心理学コース				(9)		(3)		(4)	
		言語・社会系	国語コース	-		28	(8)	9	(3)	12	(4)	
			社会コース				(13)		(4)		(5)	
			英語コミュニケーションコース				(7)		(2)		(3)	
		理数・生活系	数学コース	-		35	(12)	13	(4)	14	(4)	
			理科コース				(12)		(4)		(4)	
			情報・ものづくりコース				(6)		(3)		(4)	
			家庭科コース				(5)		(2)		(2)	
		芸術・体育系	音楽コース	-		4	2	3				
	美術コース		4		2	3						
	体育・健康コース		5		2	2						
	小 計					104	38	46	-			
中 等 教 育 教 員 養 成 課 程	国語教育専攻	-	107	7	3	-	-					
	社会科教育専攻	-		7	3		-					
	数学教育専攻	-		14	6		-					
	理科教育専攻	-		14	6		-					
	音楽教育専攻	-		8	-		-					
	美術教育専攻	-		5	-		3					
	保健体育専攻	-		8	-		-					
	技術教育専攻	-		8	-		-					
	家庭科教育専攻	-		5	-		-					
	英語教育専攻	-		7	-		3					
小 計					83	18	-	6				
特 別 支 援 教 育 教 員 養 成 課 程	視覚障害教育コース	I型	50	19	(5)	-	12	-				
	聴覚・言語障害教育コース				(5)	-						
	発達障害教育コース				(5)	-						
	健康・運動障害教育コース				(4)	-						
	視覚障害教育コース	II型		19	(5)	-						
	聴覚・言語障害教育コース				(5)	-						
	発達障害教育コース				(5)	-						
	健康・運動障害教育コース				(4)	-						
小 計					38	-	12	-				
合 計				345	225	56	58	6				

- (備考) 1. ( )内数字はコース配属数(予定)である。  
 2. 初等教育教員養成課程は系ごとに募集する。  
 3. 中等教育教員養成課程は、専攻ごとに募集する。  
 4. 特別支援教育教員養成課程の一般入試は、「I型」及び「II型」に分けて募集する。なお、「I型」とは文科系教科・科目による選考を、「II型」とは理科系教科・科目による選考を示す。  
 5. 特別支援教育教員養成課程の推薦入試①は、一括で募集する。

## 2. 出願資格

### 【一般入試】

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、平成30年度大学入試センター試験の本学指定教科・科目（9～12ページのとおり）を受験した者とする。

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ 上記出願資格（4）該当者のうち、同規則第150条第7号（「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、18歳に達したもの」）により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けることとする。

入学資格審査を受けようとする者は、提出書類等について通知するので、下記の申請期限に間に合うよう早めに本学入試課入試係（照会先は19ページを参照）まで連絡すること。

申請期限	1回目：平成29年9月8日（金）まで
	2回目：平成30年1月12日（金）まで（他大学から入学資格認定を受け大学入試センター試験に出願し受験した者が、宮城教育大学の入学者選抜試験に出願しようとする場合）

### 【推薦入試（大学入試センター試験を課さない）】

7～8ページの出願要件に定めるとおりとする。

## 3. 出願上の留意事項

- (1) 初等教育教員養成課程については志願する系にあるコースの中から、発達・教育系及び理数・生活系については第1志望から第4志望まで、言語・社会系については第3志望までのコースを選択すること。  
ただし、芸術・体育系は第1志望のコースのみ選択すること。  
なお、芸術・体育系以外の系において、志望しないコースがあった場合は、そのコースへの出願意志はないものとみなす。
- (2) 特別支援教育教員養成課程の一般入試については第1志望から第4志望までのコースを選択すること。  
なお、志望しないコースがあった場合は、そのコースへの出願意志はないものとみなす。
- (3) 初等教育教員養成課程（各系）のコースごとの所属の決定は、入学試験の成績と志望順位を考慮して、合格発表時に行う。
- (4) 特別支援教育教員養成課程の一般入試（Ⅰ型、Ⅱ型）のコースごとの所属の決定は、入学試験の成績と志望順位を考慮して、合格発表時に行う。

## 4. 入試方法等

### (1) 入試の種類と実施方法

- ① 入試は、一般入試（大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等）と推薦入試の2種類で行う。
- ② 本学が実施する「前期日程」出願者は、同じく本学が実施する「後期日程」にも出願できる。
- ③ 大学入試センター試験については、平成30年度の成績のみを利用する。

### (2) 一般入試の教科・科目及び配点

一般入試における試験の実施教科・科目及び配点は、9～12ページのとおりとする。

なお、系、専攻及び選考区分（Ⅰ型、Ⅱ型）ごとに本学が定める個別学力検査等の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合、以後の受験を認めない。また、合格者判定の対象としない。

### (3) 一般入試における面接及び実技検査の概要

面接は、以下のとおりとする。

- ① 面接は、個人面接とする。
- ② 面接は、平成30年3月12日（月）に行う（3月13日（火）に及ぶ場合がある）。

実技検査の概要については、13～15ページのとおりとする。

### (4) 推薦入試（大学入試センター試験を課さない）

出身学校長からの推薦に基づいて、総合判定により合格者を決定する。

大学入試センター試験の受験は、出願の要件としない。なお、募集人員、出願要件、入試方法等は、7～8ページのとおりとする。

## 入学者選抜方法等（一般入試）

学部・課程・系・ コース・専攻名		個別学力検査等					個別学力 検査等の 実施日程	備 考  (欠員の 補充の 方法等)	
		実 技 検 査 等							
		個別学力 検査を課 する	実技検査 を課する	面接を 行 う	小論文を 課する	外国語におけ るリスニング を課する			
教 育 部	前 期 日 程	初等教育教員養成課程 発達・教育系 幼児教育コース 子ども文化コース 教育学コース 教育心理学コース 言語・社会系 国語コース 社会コース 英語コミュニケーションコース 理数・生活系 数学コース 理科コース 情報・ものづくりコース 家庭科コース 中等教育教員養成課程 国語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻 家庭科教育専攻 英語教育専攻 特別支援教育教員養成課程 視覚障害教育コース（Ⅰ型） 視覚障害教育コース（Ⅱ型） 聴覚・言語障害教育コース（Ⅰ型） 聴覚・言語障害教育コース（Ⅱ型） 発達障害教育コース（Ⅰ型） 発達障害教育コース（Ⅱ型） 健康・運動障害教育コース（Ⅰ型） 健康・運動障害教育コース（Ⅱ型）	○	×	×	×	×	2月25日	欠員が生じた場合は、追加合格又は欠員補充第2次募集を行うことがある。
	後 期 日 程	初等教育教員養成課程 芸術・体育系 音楽コース 美術コース 体育・健康コース 中等教育教員養成課程 音楽教育専攻 美術教育専攻 保健体育専攻	○	○	×	×	×	学力検査 2月25日  実技検査 2月25日 26日	

附表1

学部・課程・系・ コース・専攻名		個別学力検査等					個別学力 検査等の 実施日程	備 考  (欠員の 補充の 方法等)	
		選抜方法等	個別学力 検査を課 する	実 技 検 査 等					外国語におけ るリスニング を課する
				実技検査 を課する	面接を 行 う	小論文を 課する			
教 育 学 部	後 期 日 程	初等教育教員養成課程 発達・教育系 幼児教育コース 子ども文化コース 教育学コース 教育心理学コース 言語・社会系 国語コース 社会コース 英語コミュニケーションコース 理数・生活系 数学コース 理科コース 情報・ものづくりコース 家庭科コース 中等教育教員養成課程 国語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻	×	×	○	×	×	3月12日  (3月13日 に及ぶ場 合がある)	欠員が生じた 場合は、追加 合格又は欠員 補充第2次募 集を行うこと がある。
	前 期 日 程	初等教育教員養成課程 芸術・体育系 音楽コース 美術コース 体育・健康コース	×	○	×	×	×	3月12日	

## 入学者選抜方法等（推薦入試）

附表2

学部・課程・系・ コース・専攻名		推 薦 入 試							備 考
		実 技 検 査 等					その他		
		個別学力検査 を免除し、大 学入試セン ター試験を課 する	個別学力検査 及び大学入試 センター試験 を免除する	実技検 査を課 する	面 接 を行う	小論文 を課す る		外国語に おけるリス ニングを課 する	
教 育 学 部	推 薦 入 試 ①	初等教育教員養成課程							
		発達・教育系							
		幼児教育コース							
		子ども文化コース							
		教育学コース							
		教育心理学コース							
		言語・社会系							
		国語コース							
		社会コース							
		×	○	×	○	×	×	○	
		英語コミュニケーションコース							
		理数・生活系							
		数学コース							
		理科コース							
	情報・ものづくりコース								
家庭科コース									
芸術・体育系									
音楽コース									
美術コース									
体育・健康コース									
推 薦 入 試 ②	中等教育教員養成課程							※専攻別課題とし て鉛筆デッサン を課す。	
	×	○	※ ○	○	×	×	○		
	×	○	×	○	×	×	○		



## 推薦入試①（大学入試センター試験を課さない）

附表3

実施学部・課程名	教育学部 初等教育教員養成課程 特別支援教育教員養成課程
募 集 人 員	初等教育教員養成課程      46名 特別支援教育教員養成課程      12名 計                                      58名
出 願 要 件	(1) 出願資格 出願する者は、次のいずれかに該当し、学校長から推薦のあった者とする。 ①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）もしくは中等教育学校を平成30年3月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月に修了見込みの者 なお、海外留学生、単位制高校出身者及び在外教育施設修了者等については、卒業（修了）が平成30年3月より前であっても平成29年4月以降に卒業（修了）した場合は、出願を認めることがある。 (2) 推薦要件 上記の出願資格に該当し、次のすべての推薦要件をみたすこと。 ①全体の評定平均値4.0以上であること。 ②本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること。 ③合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること。
入 試 方 法 等	第1次選考 課程別課題の評価により行い、第1次選考合格者は募集人員の2倍程度とする。 第2次選考 第1次選考合格者に対して集団面接及び個人面接を課し、第1次選考で実施した課程別課題の評価、出願書類を含め、総合的に評価して第2次選考合格者の決定を行う。 芸術・体育系の集団面接にはコース独自の要素を含む。
出 願 期 間	平成29年11月1日（水）～11月7日（火）
入 試 期 日	（1次）平成29年11月18日（土） （2次）平成29年12月9日（土）～12月10日（日）
合 格 発 表 日	（1次）平成29年11月24日（金） （2次）平成29年12月14日（木）
入 学 手 続 期 間	平成29年12月25日（月）～12月26日（火）
そ の 他	推薦は1校につき初等教育教員養成課程は「発達・教育系」「言語・社会系」「理数・生活系」「芸術・体育系」の4つの系のそれぞれにつき1名、特別支援教育教員養成課程は2名、計6名までとする。

## 推薦入試②（大学入試センター試験を課さない）

附表 4

実施学部・課程名	教育学部 中等教育教員養成課程 美術教育専攻 英語教育専攻
募集人員	美術教育専攻 3名 英語教育専攻 3名 計 6名
出願要件	<p>(1) 出願資格 出願する者は、次のいずれかに該当し、学校長から推薦のあった者とする。 ①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）もしくは中等教育学校を平成30年3月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月に修了見込みの者 なお、海外留学生、単位制高校出身者及び在外教育施設修了者等については、卒業（修了）が平成30年3月より前であっても平成29年4月以降に卒業（修了）した場合は、出願を認めることがある。</p> <p>(2) 推薦要件 上記の出願資格に該当し、次のすべての推薦要件をみたすこと。 ①美術教育専攻では全体の評定平均値3.8以上、英語教育専攻では全体の評定平均値4.0以上であること。 ②英語教育専攻に出願する場合は、次のいずれかの試験の公式スコア（推薦入試の入試日から遡って2年前まで有効）を提出すること。 GTEC CBT GTEC for STUDENTS Advanced（検定試験、通常試験どちらも可） TOEFL iBT®TEST TOEIC® 公開テスト TOEIC® Listening &amp; Reading 公開テスト ③本学入学後、意欲的に研鑽に努め得るものであること。 ④合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること。</p>
入試方法等	<p>美術教育専攻 出願書類（推薦書、調査書及び推薦入試レポート）の内容、専攻別課題（鉛筆デッサン）及び個人面接の結果を総合して、合格者を決定する。</p> <p>英語教育専攻 出願書類（推薦書、調査書、推薦入試レポート及び外部試験のスコア）の内容と個人面接（英語の読解及び英語によるインタビューを含む）の結果を総合して、合格者を決定する。</p>
出願期間	平成29年11月1日（水）～11月7日（火）
入試期日	平成29年11月18日（土）（11月19日（日）に及ぶ場合がある。）
合格発表日	平成29年11月24日（金）
入学手続期間	平成29年12月25日（月）～12月26日（火）
その他	推薦は1校につき各専攻1名、計2名までとする。

TOEFL iBT®TEST、TOEIC はエデュケーション・テストング・サービス（ETS）の登録商標です。  
この印刷物は ETS の検討を受けまたは承認を得たものではありません。

入学者選抜の実施教科・科目等について

附表5

Table with columns for exam details: 学部・学科等名, 学力検査等の区分・日程, 科目名, 個別学力検査等 (科目名等, 教科等), 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 (試験の区分, 国語, 地理歴史・公民, 数学, 理科, 外国語, 面接, 実技, 配点), その他の入試の方法等.

【学力検査等の区分・日程】補 後期日程の個別学力検査等で、面接を課している系においては、試験日が3月13日及び場合がある。
【大学入試センター試験の利用教科・科目名】補 地理歴史・公民から2科目を選択する場合、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」から2科目を選択することはできない。

学部・学定員等及び入学定員等 〔平成29年度 志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用学教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等		その他の入試方法等		
		学教科	科目名等		試験の区分	科目名等		配点	実技
中等教育 345人 前期 225人 後期 56人 その他 64人 〔3.3〕	前期 2月25日	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 [数I・数A]と[数II・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語総合 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション英語表現Ⅰ	センター試験	200	200	900	外国人 追加合格 欠員補充
	後期 3月12日				個別学力検査等	計	500	200	
社会科 教育専攻 107人 前期 83人 後期 18人 その他 6人	前期 2月25日	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 [数I・数A]と[数II・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語総合 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション英語表現Ⅰ	センター試験	200	200	900	外国人 追加合格 欠員補充
	後期 3月12日				個別学力検査等	計	500	200	
数学教育 専攻 20人 前期 14人 後期 6人	前期 2月25日	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 [数I・数A]と[数II・数B、簿、情報から1]の計2科目 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学から1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 なお、①の場合、基礎を付した科目と同一の基礎を付さない科目を選択できない（物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の組み合わせは選択できない） 〔5教科7～8科目〕	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B（注1）	センター試験	200	200	900	外国人 追加合格 欠員補充
	後期 3月12日				個別学力検査等	計	300	200	
理科教育 専攻 20人 前期 14人 後期 6人	前期 2月25日	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 [数I・数A]と[数II・数B、簿、情報から1]の計2科目 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学から1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 なお、①の場合、基礎を付した科目と同一の基礎を付さない科目を選択できない（物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の組み合わせは選択できない） 〔5教科7～8科目〕	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B（注1）	センター試験	200	200	1100	外国人 追加合格 欠員補充
	後期 3月12日				個別学力検査等	計	300	200	

【学力検査等の区分・日程】欄  
後期日程の個別学力検査等、面接を課している専攻においては、試験日が3月13日に及ぶ場合がある。

【個別学力検査等】欄  
①大学入試センター試験の利用学教科・科目名【欄  
地理歴史・公民から2科目選択解答する場合は、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」と、「倫理、政治・経済」と、「倫理、政治・経済」と、専修学校の修了者及び専修学校の高等課程の修了（見込）者に限る。  
地理歴史・公民と理科において、指定の学教科・科目名を超えて受験した場合は、下記のとおり取扱う。  
①地理歴史・公民において、1科目選択受験を指定している専攻に出願した科目から1科目を選択し、指定の学教科・科目名を超えて受験した場合は、第1解答科目の成績を用いる。  
②理科において、基礎を付した科目から2科目又は基礎を付さない科目から1科目を選択し、指定の学教科・科目名を超えて受験した場合は、第1解答科目の成績を用いる。  
・基礎を付さない2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合は、基礎を付した2科目の成績と基礎を付さない1科目の成績のうちの、いずれか高得点の成績を用いる。

【個別学力検査等】欄  
（注1）「数学B」の出題範囲は「数列」「ベクトル」とする。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
大学入試センター試験における英語の配点にはリスニングの成績を含む。英語の配点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用する。  
□で明記している点数は、下記のとおり換算した点数である。  
・前期日程の理科教育専攻では理科2科目（又は3科目）の点数を2倍に換算する。  
・後期日程の国語教育専攻では国語の点数を2倍、外国語の点数を1.5倍に換算する。  
・後期日程の社会科教育専攻では国語の点数を1.5倍、地理歴史・公民の点数を2倍に換算する。  
・後期日程の数学教育専攻では国語の点数を2倍、数学2科目の点数を2倍に換算する。  
・後期日程の理科教育専攻では国語の点数を1.5倍、理科2科目（又は3科目）の点数を2倍に換算する。

学部・学科等名 等 定員 等 〔志願倍率〕	学検 査等 の 区 分 ・ 日 程	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 の 利 用 教 科 ・ 科 目 名		個 別 学 力 検 査 等 科 目 名 等	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点 等	そ の 他 の 入 試 方 法 等
		国語	数 学			
中等教育 専攻 8人 前期8 後期5 その他3 (3.3)	前期 2月25日 26日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】 ①数学Aと②数II・数B、算、情報から1の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・ 生物・地学から1科目 英・独・仏、中、韓から1科目	数学 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・ 地学から1科目 ②物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学から 1科目、あるいは③物理・化学・生物・地学から2科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	国語総合 実技（実技検査の概要別表2 参照）	センター試験 個別学力検査等 計 200 100 300 200 100 100	外国人 追加合格 欠員補充
美術教育 専攻 107人 前期1 後期18 その他6	前期 2月25日 26日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】 ①数学Aと②数II・数B、算、情報から1の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・ 生物・地学から1科目 英・独・仏、中、韓から1科目	数学 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 又は2（注1） 次の①、②のいずれかを選択（注1） ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・ 地学から1科目 ②物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学から 1科目、あるいは③物理・化学・生物・地学から2科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	国語総合 実技（実技検査の概要別表2 参照）	センター試験 個別学力検査等 計 200 100 300 200 100	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
保健体育 専攻 8人 前期8	前期 2月25日 26日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	数 外 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	国語総合 実技（実技検査の概要別表2 参照）	センター試験 個別学力検査等 計 200 100 300 200 100	外国人 追加合格 欠員補充
技術教育 専攻 8人 前期8	前期 2月25日 26日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】 【数I・数A】と【数II・数B、算、情報から1】の計2科目 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学 から1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 なお、①の場合、基礎を付した科目と同一の基礎を付さない科目を選択できない（物理基礎と物理、 化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の組み合わせは選択できない）。 英・独・仏、中、韓から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	数 理 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	国語総合 実技（実技検査の概要別表2 参照）	センター試験 個別学力検査等 計 200 100 300 200 100	外国人 追加合格 欠員補充
家庭科 教育専攻 5人 前期5	前期 2月25日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】 【数I・数A】と【数II・数B、算、情報から1】の計2科目 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学 から1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 なお、①の場合、基礎を付した科目と同一の基礎を付さない科目を選択できない（物理基礎と物理、 化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の組み合わせは選択できない）。 英・独・仏、中、韓から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	数 理 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 【5教科7～8科目又は6教科7～8科目】	国語総合 実技（実技検査の概要別表2 参照）	センター試験 個別学力検査等 計 200 100 300 200 100	外国人 追加合格 欠員補充

【大入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。  
（注1）中・前期日程の美術教育専攻では地理歴史・公民の配点を0.5倍に換算する。  
（注2）中・前期日程の音楽教育専攻では物理・化学・生物・地学の配点を0.5倍に換算する。

【大入試センター試験】  
①「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。  
②「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。  
③「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。  
④「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。

【大入試センター試験】  
①「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。  
②「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。  
③「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。  
④「倫理」・「政治・経済」をすべて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。

学部・学科等名及び入学定員等 〔平成29年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等		その他の入試方法等							
		教科	科目名等		試験の区分	国語		地理歴史・公民	数学	理科	外国語	面接	実技	配点
英語教育専攻 10人 前期7 その他3 中等教育専攻 10人 前期7 その他3 教育課程 107人 前期225 後期83 その他18 その他6 〔3.3〕	前期 2月25日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 [数Ⅰ・数A]と[数Ⅱ・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 [数Ⅰ・数A]と[数Ⅱ・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語総合 英語Ⅰ・英語Ⅱ・英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験 200 個別学力検査等 300 計 500	200 200 200	200 200 200	100 100 100	200 300 500			900 600 1500	推薦 外国人 追加合格 次員補充	
	前期 2月25日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 [数Ⅰ・数A]と[数Ⅱ・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 [数Ⅰ・数A]と[数Ⅱ・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(注1) 英語表現Ⅰ	センター試験 200 個別学力検査等 200 計 400	200 200 400	200 200 200	100 100 100	200 200 400				900 400 1300	推薦 外国人 追加合格 次員補充
前期 38 その他12	前期 2月25日	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 [数Ⅰ・数A]と[数Ⅱ・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 [数Ⅰ・数A]と[数Ⅱ・数B、簿、情報から1]の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(注1)	センター試験 200 個別学力検査等 200 計 400	200 200 400	100 100 100	200 200 400	200 200 200				900 400 1300	推薦 外国人 追加合格 次員補充

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】 国語、地理歴史・公民から2科目を選択できる者は、中等教育学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込）者に限る。また、「倫理・政治・経済」と、「倫理・経済」をあわせて2科目を選択すること（同一名称科目の選択）もできない。地理歴史・公民と理科において、1科目選択受験を指定している専攻・型に出願した者で、指定の科目数を超えて受験した場合の成績の利用は次のとおりとする。

①地理歴史・公民において、基礎を付した科目から2科目又は基礎を付さない科目から1科目を選択受験を指定している専攻・型に出願した者で、指定の科目数を超えて受験した場合の成績を認める。

②理科において、基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合は、基礎を付した2科目の成績と基礎を付さない1科目の成績のうち、いずれか高得点の成績を用いる。

【個別学力検査等】 国語総合、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(注1)、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ

【注1】「数学B」の出題範囲は「ベクトル」とする。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】 国語総合、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(注1)、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ

大学入試センター試験における英語の配点にはリスニングの成績を含む。英語の配点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用する。

# 実技検査の概要

## 前期日程試験

【初等教育教員養成課程 芸術・体育系】

別表1

<p>音楽 コース</p>	<p>(1) 演奏試験 器楽（日本の楽器を含む）又は声楽により、演奏する能力をみる。演奏する曲目は任意とし、演奏時間は1人数分程度とする。時間の関係で、演奏を途中でとめることがある。 なお、ピアノ伴奏が必要な場合、伴奏者は本学で準備する。ピアノ以外の楽器を使用する場合には、受験者が持参する。 以下のものについては、出願時に提出する。</p> <p>① 演奏曲目届（書式任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽又は声楽の別</li> <li>・器楽を選択する場合は、使用楽器名</li> <li>・演奏曲目（作曲者名、曲名、作品番号、演奏する楽章等）</li> <li>・ピアノ以外を選択する者は、伴奏の必要の有無</li> </ul> <p>② 演奏楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏付きの楽譜）</p> <p>(2) 筆記試験 楽典に関する初歩的な知識をみる。試験時間は20分とする。</p> <p>(3) 弾き歌い 小学校歌唱教材程度の曲を、ピアノを弾きながら歌う能力をみる。 課題曲は、10月に発表される一般入試学生募集要項で発表する。</p>
<p>美術 コース</p>	<p>試験は四つ切り画用紙（380×540mm）に鉛筆を用いた静物デッサンを実施する。 表現力、構成力、物の捉え方等の基礎能力をみる。 試験時間は3時間とする。</p>
<p>体育・ 健康 コース</p>	<p>歩・走・跳・投の運動、器械・器具を使っての運動、用具を操作する運動などの基本的な運動から構成されたいくつかの課題について実技検査を行う。与えられた課題を把握する能力、他者やものの動きとの協応性、動きの巧みさとしなやかさ、リズム感や連続性、全身の協調性を総合的にみる。</p> <p>※実技検査は屋内で行う。</p>

音 楽 教 育 専 攻	<p>(1) 演奏試験 器楽（日本の楽器を含む）又は声楽により、演奏する能力をみる。演奏する曲目は任意とし、演奏時間は1人数分程度とする。時間の関係で、演奏を途中でとめることがある。 なお、ピアノ伴奏が必要な場合、伴奏者は本学で準備する。ピアノ以外の楽器を使用する場合には、受験者が持参する。 以下のものについては、出願時に提出する。</p> <p>① 演奏曲目届（書式任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽又は声楽の別</li> <li>・器楽を選択する場合は、使用楽器名</li> <li>・演奏曲目（作曲者名、曲名、作品番号、演奏する楽章等）</li> <li>・ピアノ以外を選択する者は、伴奏の必要の有無</li> </ul> <p>② 演奏楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏付きの楽譜）</p> <p>(2) 筆記試験 楽典と日本及び諸外国の音楽に関する基礎的な知識をみる。試験時間は40分とする。</p> <p>(3) 平易な聴音 単旋律を聴いて書き取る能力をみる。</p> <p>(4) 弾き歌い ピアノを弾きながら歌う能力をみる。 課題曲は、10月に発表される一般入試学生募集要項で発表する。</p>
美 術 教 育 専 攻	<p>試験は四つ切り画用紙（380×540mm）に鉛筆デッサンを実施する。 観察力、描写力、構合力等の基本的造形能力をみる。 試験時間は3時間とする。</p>
保 健 体 育 専 攻	<p>〔バスケットボール、バレーボール、サッカー〕の3種目から選択した1種目に、器械運動及び陸上競技の2種目を加えて、合計3種目について実技検査を行う。出願後の種目の変更は認めない。</p> <p>(1) 〔バスケットボール、バレーボール、サッカー〕から1種目選択</p> <p>①バスケットボール：攻撃と防御の個人的基礎技能の習熟度及びゲームにおける基礎的プレイの実践力をみる。</p> <p>②バレーボール：個人的基礎技能の習熟度及びゲームにおける総合的な動きの実践力をみる。</p> <p>③サッカー：個人的基礎技能（対人プレイも含む）の習熟度及びゲームにおける総合的な実践力をみる。</p> <p>(2) 〔器械運動〕 マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動のうち1～2種目における基本的な技とその組合せの習熟度をみる。</p> <p>(3) 〔陸上競技〕 走・跳・投種目のうち1～3種目について、基礎的技能を中心に技術やルール等の理解もあわせてみる。</p> <p>※実技検査はいずれも屋内で行う。</p>



## 後期日程試験

【初等教育教員養成課程 芸術・体育系】

別表3

音 楽 コース	<p>(1) 演奏試験</p> <p>器楽（日本の楽器を含む）又は声楽により、演奏する能力をみる。演奏する曲目は任意とし、演奏時間は1人数分程度とする。時間の関係で、演奏を途中でとめることがある。</p> <p>なお、ピアノ伴奏が必要な場合、伴奏者は本学で準備する。ピアノ以外の楽器を使用する場合には、受験者が持参する。</p> <p>以下のものについては、出願時に提出する。</p> <p>① 演奏曲目届（書式任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽又は声楽の別</li> <li>・器楽を選択する場合は、使用楽器名</li> <li>・演奏曲目（作曲者名、曲名、作品番号、演奏する楽章等）</li> <li>・ピアノ以外を選択する者は、伴奏の必要の有無</li> </ul> <p>② 演奏楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏付きの楽譜）</p> <p>(2) 筆記試験</p> <p>楽典に関する初歩的な知識をみる。試験時間は20分とする。</p> <p>(3) 弾き歌い</p> <p>小学校歌唱教材程度の曲を、ピアノを弾きながら歌う能力をみる。</p> <p>課題曲は、10月に発表される一般入試学生募集要項で発表する。</p>
美 術 コース	<p>試験は四つ切り画用紙（380×540mm）に鉛筆を用いた静物デッサンを実施する。</p> <p>表現力、構成力、物の捉え方等の基礎能力をみる。</p> <p>試験時間は3時間とする。</p>
体 育・ 健 康 コース	<p>歩・走・跳・投の運動、器械・器具を使つての運動、用具を操作する運動などの基本的な運動から構成されたいくつかの課題について実技検査を行う。与えられた課題を把握する能力、他者やものの動きとの協応性、動きの巧みさとしなやかさ、リズム感や連続性、全身の協調性を総合的にみる。</p> <p>※実技検査は屋内で行う。</p>

## 5. 私費外国人留学生入試

- (1) 募集人員は、若干名とする。
- (2) 出願資格は、日本国籍を有しない者〔出入国管理及び難民認定法別表第1の4に定める在留資格「留学」を有する者及び取得できる見込みの者〕で、次の1)及び2)に該当するものとする。
- 1) 次の各号のいずれかに該当する者
- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30（2018）年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成30（2018）年3月31日までに18歳に達するもの
  - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥーア資格を有する者で、平成30（2018）年3月31日までに18歳に達するもの
  - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30（2018）年3月31日までに18歳に達するもの
- 2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度第1回又は第2回日本留学試験の本学指定教科・科目を受験した者
- 大学入試センター試験の受験は、出願の要件としない。
- (3) 日本留学試験における受験系の別（文科系、理科系）に対応する本学の課程・専攻・コースは、次のとおりとする。

受験系	本学の課程・専攻・コース		
	初等教育教員養成課程	中等教育教員養成課程	特別支援教育教員養成課程
文科系	発達・教育系 幼児教育コース 子ども文化コース 教育学コース 教育心理学コース 言語・社会系 国語コース 社会コース 英語コミュニケーションコース 芸術・体育系 音楽コース 美術コース 体育・健康コース	国語教育専攻 社会科教育専攻 音楽教育専攻 美術教育専攻 保健体育専攻 英語教育専攻	視覚障害教育コース 聴覚・言語障害教育コース 発達障害教育コース 健康・運動障害教育コース
理科系	発達・教育系 教育学コース 教育心理学コース 理数・生活系 数学コース 理科コース 情報・ものづくりコース 家庭科コース 芸術・体育系 体育・健康コース	数学教育専攻 理科教育専攻 保健体育専攻 技術教育専攻 家庭科教育専攻	視覚障害教育コース 聴覚・言語障害教育コース 発達障害教育コース 健康・運動障害教育コース

#### (4) 入試方法

- ① 日本留学試験、本学が実施する日本語（文法・読解）の試験、面接試験及び実技検査の結果を総合して選考する。
- ② 日本留学試験で本学が課す教科・科目は、次の表に記載するとおりとする。  
なお、出題言語は、日本語とする。

受験系	教科・科目	備考
文科系	日本語	「記述」「読解」「聴解・聴読解」の3領域
	総合科目	
	数学（コース1）	
理科系	日本語	「記述」「読解」「聴解・聴読解」の3領域
	理科	「物理」「化学」「生物」から2科目選択
	数学（コース2）	

- ③ 面接試験の一部として、基礎的な学力検査を行うことがある。
- ④ 初等教育教員養成課程の芸術・体育系（音楽コース、美術コース、体育・健康コース）及び中等教育教員養成課程の音楽教育専攻、美術教育専攻、保健体育専攻に出願する者については、実技検査を行う。

#### (5) 実施日時等

期 日	時 間	試験内容	試験場	備 考
平成30年 2月3日（土）	9：00～10：30	日本語 （文法・読解）	本 学	辞書（電子辞書を含む）の 使用は認めない。
	13：00～	面接試験 実技検査		

## 6. 入学者選抜試験の情報開示

情報開示の方法については、それぞれの入試ごとに学生募集要項で公表する。

## 7. 学生募集要項の配付時期

学生募集要項の配付時期は次のとおりとする。なお、請求方法の詳細については18ページを参照のこと。

- (1) 推薦入試は9月下旬から
- (2) 一般入試及び私費外国人留学生入試は10月下旬から  
(私費外国人留学生入試の学生募集要項は、電子ファイルのみでの配付となります。)

## 8. その他

- (1) 入学定員の一部をあらかじめ留保して行う第2次募集は行わない。
- (2) 入学者が入学定員に満たない場合には、「追加合格」又は「欠員補充第2次募集」を行うことがある。
- (3) 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする出願予定者は、本学の各種学生募集要項を参照すること。

## ○ 学生募集要項等の請求方法

### 1. テレメールで請求する場合

- ①インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話を利用して  
ください。



インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話等)の場合	自動音声応答電話の場合
<p>http://telemail.jp</p> <p>パソコン及びスマートフォン・携帯電話各社共通アドレスです。</p>	<p>IP 電話 050-8601-0101</p> <p>(24時間受付)</p>
<p>右のバーコードからアクセスした 場合は資料請求番号は不要。</p> 	

※ IP 電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

- ②資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料 金 (送料含む)	備 考
一般入試学生募集要項+大学案内	540802	300円	発送開始時期は10月下旬
推薦入試学生募集要項+大学案内	540812	300円	発送開始時期は10月上旬

- ③あとはガイダンスに従って登録してください。

※請求から1～2日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。なお、発送開始日までの請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は資料到着まで保管しておいてください。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。送付される資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。

※自動音声応答電話による請求の場合、住所、氏名の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。

登録された音声の不鮮明な場合、資料をお届けできないことがあります。

### 2. 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、宮城教育大学のホームページ(<http://www.miyakyo-u.ac.jp>)の資料請求をご覧ください。  
私費外国人留学生入試の学生募集要項も同じ URL からダウンロードしてください。

\*上記1. 2. の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

### 3. 宅配便利用の場合

高等学校等で取りまとめて請求する場合は必要部数を明記し、着払いの宅配ラベル(送付先明記)を同封のうえ請求してください。

### 4. 郵送を希望する場合

入試課入試係あての封筒の表に、必要とする募集要項の種類を朱書きのうえ、郵送してください。その際、角形2号の返信用封筒に返送先の郵便番号・住所・氏名を明記し、切手380円分をはって同封してください。

### 5. 直接来学する場合

本学正門受付もしくは入試課入試係(下記住所)で受け取ってください。配付時間は、入試課入試係で受け取る場合は午前8時30分から午後5時までです。

また、本学正門受付では24時間、平日・土・日・祝日を問わず受け取ることができます。

## ○ 宮城教育大学オープンキャンパス

本学の入試制度や教育内容等を直接受験生等に説明する目的で、「宮城教育大学オープンキャンパス」を平成29年8月3日(木)に本学で開催します。詳細については、本学ホームページ・携帯サイト(下記参照)で公表します。自由に参加できます。ただし、高校単位で貸切バスを利用して参加される場合は、事前に次の照会先までご連絡ください。

## ○ 照 会 先

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地 宮城教育大学 入試課入試係 (TEL(022)214-3334)

## ○ 入学試験に関するインターネットによる情報提供

<http://www.miyakyo-u.ac.jp> (宮城教育大学のホームページ参照)

<http://daigakuic.jp/prc.miyakyo-u/> (宮城教育大学の携帯サイト参照)



## ○ 宮城教育大学までのアクセス

〈地下鉄 東西線〉

「仙台」駅から「八木山動物公園」行き乗車、「青葉山」駅下車  
(乗車時間9分、料金250円)

「青葉山」駅「北1出口」から徒歩約7分

※「青葉山」駅の「北1出口」から外に出て、歩道を右方向へ進みます。  
そのまま歩道を歩いて行くと宮城教育大学に到着します(約650m)。

【本学ホームページ「交通アクセス」 <http://www.miyakyo-u.ac.jp/>】

